

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成23年度(第5回)入間市国民健康保険運営協議会
開 催 日 時	平成24年2月7日(火) 午後2時00分 開会・午後3時30分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 5階B棟 全員協議会室
議 長 氏 名	茂木勇夫
出席委員(者)氏名	1号委員 大森善夫、齋藤勝子、関口徹、花島綾、晝間達夫 2号委員 粕谷光由、佐山勝己、澤田壽一、寺師良樹、藤野美智子 3号委員 杉田富徳、橋本とし子、松下庄一、茂木勇夫 4号委員 富永豊
欠席委員(者)氏名	1号委員 2号委員 3号委員 永田雅良 4号委員 青木功、太田了
説明者の職氏名	①議事 平成23年度入間市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案について 石田主幹 ②議事 平成24年度入間市国民健康保険特別会計当初予算案について 石田主幹 ③その他 「入間市国民健康保険医療費等の状況」原嶋主幹、事務連絡 原嶋主幹
会議次第(公開・非公開の別)	別紙「会議録(3)」のとおり(公開)
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	0人
配 布 資 料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	市長 木下 博 市民部長 大野勉 保険年金課長 牛窪克己、主幹 石田政巳 原嶋裕子 野口鉄夫 杉浦克明、副主幹 浅見宏幸
会議録作成方法	要点記録

会 議 録 (2)

議事の概要 (経過) ・ 決定事項

司 会 次第により進行

1 開 会 次第により進行

2 あいさつ 会 長 (省略)

3 あいさつ 市 長 (省略)

4 議 事

①平成23年度入間市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号) 案について
事務局から説明後、質疑応答後に全員了解

②平成24年度入間市国民健康保険特別会計当初予算案について
事務局から説明後、質疑応答後に全員了解

5 その他

「入間市国民健康保険医療費等の状況」(報告)

事務連絡 次回会議予定 未定

■ 議 事 全 件 終 了 ■

6 閉 会 会長代理あいさつ (省略)

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
会 長	<p>本日の議事録署名委員は、2号委員から佐山委員、4号委員から富永委員にお願いいたします。</p>
事 務 局	<p>初めに、議事1「平成23年度入間市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)案について」事務局より説明をお願いします。</p>
会 長	<p>配付資料確認の後、「資料1」に基づき内容について説明する。</p>
会長代理	<p>ただいまの事務局の説明について質疑をお願いします。</p>
事 務 局	<p>特定健診の予算を減額補正したのはなぜでしょうか。当初、人口の何パーセントを受診見込人数と想定していたのでしょうか。</p>
会長代理	<p>特定健診は、国民健康保険被保険者の40歳以上74歳までの被保険者が対象となります。その内、45パーセントが受診すると想定して当初予算を組みましたが、今までの実績から判断して減額いたしました。</p>
事 務 局	<p>今年はキャンペーンをやっていましたよね。あまり効果が無かったということですか。</p>
富永委員	<p>受診率につきましては、結論から申しますと前年度よりも若干上がっております。最終報告はまだですが、先月の前年度と今年度の同時期を比較しますと5ポイント程上がっています。</p>
事 務 局	<p>まず一点ですが、歳入の前期高齢者の交付金が減額になっていきますけれども、1号補正に間に合わなかったのでしょうか。歳出の方の後期高齢者支援金とか介護納付金と同じ時期に確定をするはずではないのかと思ひまして、それなら、1号補正で間に合ったはずですよ。</p>
事 務 局	<p>それともう一点、繰入金の補正理由の備考欄の数字が保険基盤安定の1億6,181万4千円、職員給与費等の8,355万円、出産育児一時金が6,013万3千円、財政安定化事業に5,103万4千円の数字しか記載されていないですが、この合計は3億5,653万1千円にしかならないが、残りはすべてその他繰り入れと考えてよろしいでしょうか。</p>
事 務 局	<p>まず一点目についてお答えします。前期高齢者の交付金ですが、指摘いただいたとおり、その時点で数字は大方、把握しておりましたが、他の予算の動向と医療費の伸びを考慮し、1号補正を見送り、今回にまわしました。</p>
富永委員	<p>それから二点目の繰入金の備考欄の内訳は、法定分しか載せていませんでした。今後、その他の分も含めて記載するようにいたします。</p>
事 務 局	<p>今、前期の交付金の関係で、1号補正で本来、間に合ったがその他の状況から先に延ばしたのというのはおかしいと思う。収める方、出す方</p>

事務局	<p>は1号補正でやっておきながら、減る方を1号補正ではやらなかった。歳入が確定した時点でマイナスになるのだから、当然どこかで調整しなくてはいけなかったわけです。2億7,500万円も減額することがわかっていたのに補正しないで、今回出してきて、それも繰入金を1億7千万増やすという形で調整するのはおかしいと思う。本来なら確定した段階で間に合ったのだから1号補正でやるべきだったと私は思います。</p>
富永委員	<p>前期高齢者交付金の減額分と国、県からの補助金等の歳入全体での状況を見極めた上で補正しようと考えて今回の補正になりました。今後は、適正な方法を検討していきたいと思います。</p>
事務局	<p>もう一点あります。繰入金の件で、繰入金が16億2,000万円の内、3億5,600万円を引いた12億6,300万円がその他繰入金になるのでしょうか。</p>
富永委員会 会長	<p>ご指摘のとおり今回の補正では、その他一般会計繰入金が12億6,346万9千円になります。</p> <p>分かりました。</p>
全委員会 会長	<p>他に何か意見はございませんでしょうか。無いようですので、この議事1「平成23年度入間市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案について」はこれでよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>異議なし</p> <p>次に、議事2「平成24年度入間市国民健康保険特別会計当初予算案について」について事務局より説明を願います。</p>
富永委員	<p>配付資料確認の後、「資料2・3」に基づき内容について説明する。</p> <p>収納業務についてはよく分かりませんが、健康福祉センターに移管になる特定健診、人間ドック等は保険者の仕事ですから、国保がやるわけですね。</p>
事務局	<p>国民健康保険の保険者は入間市です。来年度から特定健診、人間ドック等は健康福祉センターが、収納事務は収税課がそれぞれ特別会計を設けて実施します。この組織の見直しによって、より高度で専門的な業務を行なうことによって受診率、収納率の向上に繋がると考えております。</p>
富永委員	<p>今年は、最初ですので保険年金課でまとめて新年度の予算案を作成しましたが、決算の際には、それぞれ担当課が出席してご説明させていただくこととなります。</p>
富永委員	<p>歳入、歳出の数字だけ見せられてもよく分からない。収入で退職者分は減っているのに、医療給付の歳出は増えている等、なぜこうなるのかの根拠となる資料が無いので判断するのが難しい。</p>

事務局 澤田委員	<p>現在、根拠となる説明資料をまとめている最中です。</p> <p>それはおかしい。そもそも議会に提出する資料は、ここに無くてはならない。そういった資料はこの日に向けて、徹夜してでも準備しておくものではないか。そこのところ、部長、説明をお願いします。</p>
部長 富永委員	<p>今の今、この場ですぐというのは無理ですので、ご理解いただきたい。数字をポンと出して、後は了解してくださいではおかしい。</p> <p>例えば、後期支援分の出し方などは、対象者が何人で、1人あたりいくらになるから、この数字になる等、積算の根拠が必ずあるはずですよ。</p>
会長 富永委員	<p>それでは、積算の根拠となる資料がそろった段階で改めて、協議会を開催したほうがよろしいですか。</p> <p>その必要はないです。ここで挙げている数字自体に異論があるわけではなく、ここで上げられている数字の根拠がどのように計算されているか詳しく知りたいということです。このことは毎年、言ってきました。</p>
澤田委員 事務局	<p>最近では、具体的な資料で議論することがなくなってしまった。</p> <p>後期支援分、介護支援分等についての指摘された点について根拠となる計算方法を具体的に口頭で説明する。</p>
富永委員 澤田委員 事務局	<p>了解しました。</p> <p>この予算案は、歳入、歳出ではどちらを先に作っているのですか。</p> <p>まず、歳出の前年実績、伸び率等を積算し、そこから補助率等を勘案し、歳入の予算を作成しています。</p>
澤田委員 事務局	<p>2号委員である私が心配するのもおかしいかもしれないが、歳出（医療給付）を抑えるための努力はしているのですか。具体的に担当部署として答えて欲しい。</p> <p>ジェネリック医薬品の利用促進、特定健診の受診キャンペーン等、医療費の適正化に向けて日々、努力はしておりますが、インフルエンザの流行で、簡単に1億ぐらいの歳出が出てしまうなど不可抗力とも言える要素が多く、非常に苦慮しています。</p>
澤田委員	<p>狭山市では市長自身が、窓口の支払いを撤廃したことで子ども医療費の歳出が1.4倍になったと発言したのを聞きました。</p>
市長	<p>医療費の増加の問題は、いろいろな角度から見ていかななくてはならないと思っている。入間市でも3年前に同じ決断をした。この問題も周りの市町村とのバランスもあり1市だけで反対することは非常に難しい。子ども医療費も県内では多くの市町村が中学生まで引き上げられている中、入間市だけが小学2年までと取り残されている厳しい現状がある。</p> <p>ただ、窓口支払いの撤退だけが単純に医療費の増加に繋がっていると</p>

<p>澤田委員</p>	<p>は考えていない。いろいろな要素が複雑に関係していると思う。</p> <p>また、先ほどの予算案の積算の根拠についてだが、改めて私のほうからも指示しておく。</p> <p>毎年同じで、国保の予算は市税からの繰入金をあてにしている。市長も財政的な厳しさに言及している以上、担当課でもそこらへんを認識して、しっかりしてもらわなくてはならないと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の組織機構の見直しは、そこが大きな理由のひとつであります。より専門性の高い健康福祉センターに特定健診、人間ドック等の保健事業を移すことにより、事業の充実を図り医療費の抑制に繋げ、保険税に関しては収納部門に徴収業務を集約することで、蓄積されたノウハウを活用し、総合的な収納事務を行なうことで、収納率の向上を図ります。</p>
<p>澤田委員</p>	<p>賦課と収納を切り離してどんな成果、収納率が上がった等の他市町村のデータはありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>既にほとんどの市町村で実施済みです。実施前と実施後での具体的データは、現在把握しておりません。但し、入間市と同程度の人口規模の市町村で賦課と収納を切り離していないところは、入間市と吉川市だけになっています。県からもこの点について、指導助言において見直すようにとの指示がありました。</p>
<p>澤田委員</p>	<p>今回は、こうした状況の中でいかに医療費の伸びを抑えるか、それにはどのような方法が考えられるのか行政側で検討していただき、その内容をはっきりしていただきたい。</p>
<p>会長</p>	<p>他に何か意見はございませんでしょうか。無いようですので、この議事2「平成24年度入間市国民健康保険特別会計当初予算案について」はこれでよろしいでしょうか。</p>
<p>全委員長</p>	<p>異議なし</p> <p>他に何かございませんでしょうか。無いようですので事務局より事務連絡があります。</p>
<p>事務局</p>	<p>その他</p> <p>①「入間市国民健康保険医療費等の状況」(報告)(「資料4」に基づき原嶋主幹より説明)</p> <p>②事務連絡 次回会議予定 未定</p> <p>それでは、本日の会議を終了いたします。</p> <p style="text-align: center;">以上</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成 年 月 日

会 長

指名委員

指名委員
